

盆コギクの成長点変化と開花期の関係

寺社仏閣の多い京都では、お盆時期の1～2週間前にコギクが出荷されます。最近では、気候変動（特に高温）により、開花期が揃わず、出荷が不安定になる可能性があります。いくつかのコギク品種について、成長点の大きさを調べ、開花期との関連を調べています。



図1 紅式部の成長点変化

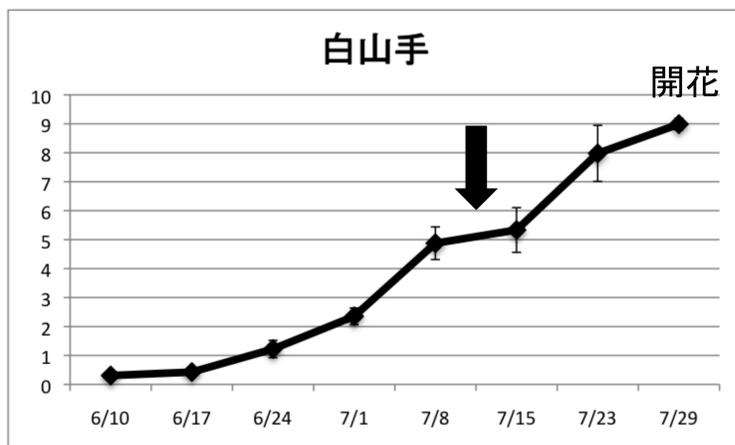
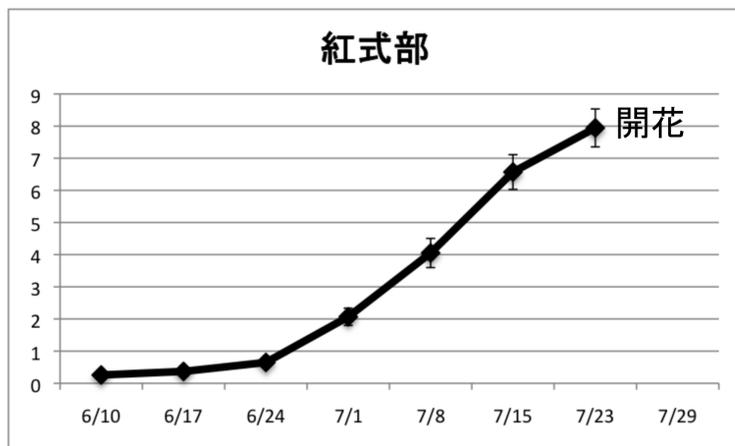
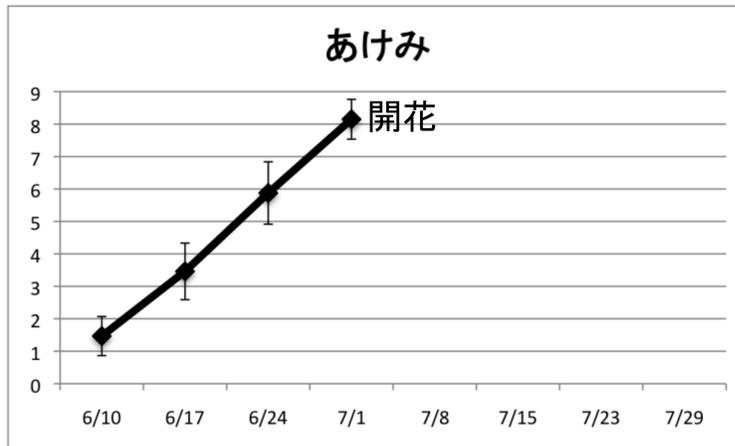


図2 成長点の幅の変動と開花した様子。白山手で成長停滞が見られる(矢印)。

成長点の変化を調べると、「あけみ」は直線的に肥大して7月上旬に開花、「紅式部」は夏至を境に成長点の肥大が起こり、その後はほぼ直線的に開花へ向かうことが分かりました。一方「白山手」では、7月に入って成長点肥大に停滞が見られました。

品種によって、環境の変化を受けやすいもの、受けにくいものがあります。成長点の経時観察により、環境変化を受けにくく、安定した開花期をもつ品種選抜が可能になります。